

# 没後70年 徳信山脇展

YAMAWAKI SHINTOKU

極端から極端へ—印象派を越えて郷土へ  
高知県立美術館 The Museum of Art, Kochi  
高知市高須2-1-2 TEL:087-899-8000 FAX:087-899-8008  
moak.jp

2022 (令和4)年

3.30 水曜日  
—5.15 日曜日

会期中無休 午前9時~午後5時 (入場は午後4時30分まで)

観覧料: 一般当日 600 円(480円)、大学生当日 400 円(320円)、高校生以下無料

※前売券販売なし ※()内は20名以上の団体割引料金 ※年間観覧券所持者は無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳及び被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)、高知県及び高知市の長寿手帳所持者は無料

主催: 高知県立美術館 後援: 高知県教育委員会、高知市教育委員会、高知新聞社、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、NHK 高知放送局、KCB 高知ケーブルテレビ、エフエム高知、高知シティFM放送



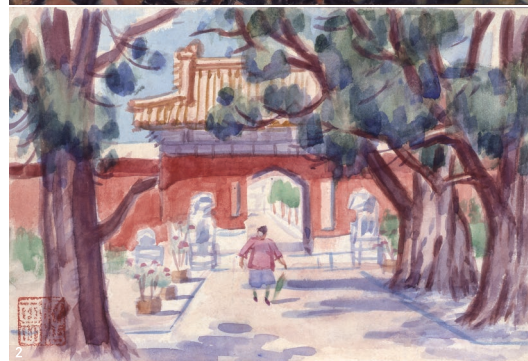


# 没後70年 山脇信徳展

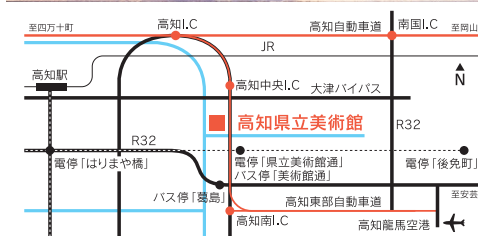
YAMAWAKI SHINTOKU

極端から極端へ—印象派を越えて郷土へ

没後70年となる画家・山脇信徳（1886〜1952）の展覧会を開催します。高知市に生まれた山脇は、東京美術学校在学中の1909（明治42）年、第3回文展に出品した《停車場の朝》で注目を集めます。現在は焼失してしまった本作は、印象派風の作風で陶芸家・バーナード・リーチや彫刻家・高村光太郎の目に留まり、印象派の画家モネと重ねて称賛されました。その後も美術展出品を続け、白樺派の作家たちと交流するなどし、1912（明治45）年に東京を離れます。滋賀県で中学校の図画教員を務めた後、満州勤務を経て、欧州へ留学。帰国後は高知に暮らし、欧州でのスケッチを基にした作品や高知を主題とした絵を描きました。同時代の芸術家たちとの交流も続ける一方で、高知県展発足や後進芸術家の育成に尽力するなど、故郷の文化芸術推進に大きな貢献をします。当館所蔵の山脇信徳作品約60点を同時代の作家たちの作品とともにご覧下さい。



1.《マルセイユ》1933年 カンヴァスに油彩 2.《中国風景-寺院-》1922-25年 紙に水彩 3.《夕日》1910年 板に油彩 高知市蔵 4.《パリ 夜のまち》1925-29年 紙に水彩、パステル 5.《土佐の「さあち料理」》1943年 カンヴァスに油彩 表:《雨の夕》1908年 カンヴァスに油彩 高知市蔵 ※作者は全て山脇信徳。表、3以外は高知県立美術館蔵



## 関連企画

新型コロナウイルス感染症対策実施中のため、変更となる場合がございます。最新情報は高知県立美術館Webサイトをご確認ください。

### 記念講演会 山脇信徳 人と作品

講師：鍵岡正謹（当館初代館長）  
日時：2022年4月23日（土）14:00～  
場所：1階 講義室  
定員：30名程度（事前予約優先）  
※ご予約希望の方はお電話（088-866-8000 | 9:00～17:00）にてお申し込みください。

### サタデー・レクチャー 山脇信徳 変化し続けた画家

講師：柳澤宏美（当館学芸員）  
日時：2022年4月16日（土）14:00～  
場所：1階 講義室  
定員：30名程度（申込不要、先着順）

### ティーチャーズ・ウィーク

4月1日（金）～4月7日（木）の期間中、高知県内の教職員の方は本展およびコレクション展を無料でご覧いただけます。希望者には学校での美術館利用についての相談も受け付けています。3月31日（木）までに電話（088-866-8000 | 9:00～17:00）にてお申し込みください。

要事前  
申し込み

### 高知県立美術館へのアクセス

■とさでん交通路面電車「はりまや橋」から「ごめん」「鎮石通」「文珠通」行きで15分、「県立美術館通」下車徒歩5分 ■高知龍馬空港からは、高知市内一空港間を結ぶとさでん交通の空港連絡バスをご利用いただけます。バス停「葛島」で下車徒歩16分 ■車・タクシーをご利用の場合は、JR高知駅から15分、高知龍馬空港から20分、高知インターから10分（高知東部自動車道方面からは降りられません）、高知中央インターから3分、高知南インターから10分

高知県立美術館  
THE MUSEUM OF ART, KOCHI  
781-8123 高知市高須353-2 ☎088-866-8000 ■088-866-8008 moak.jp